

茨城県国際理解教育推進協議会

会長 川俣 勝慶 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 城里町立常北小学校

担当教諭名 関 康 秀

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。
記

実施日時	平成 23年 12月 19日 (月) 10:30 ~ 12:15
対象学年と人数	第5学年 24名
派遣講師名と出身国	シャ・エムデイ・フォエズ (バングラデシュ)
活動の内容	お米をつかったバングラデシュ料理を調理し、食してみる。
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	コーディネーターがついてくれたために、活動がスムーズに展開できた。 今後も機会があったら学習に取り入れていきたい。
生徒・保護者等参加者の感想	児童のみで実施 ・いろいろなスパイスを入れたのでびっくりした。からかったけどとてもおいしかった。 ・とても楽しかった。 ・バングラデシュのお米は細長くてパサパサしていた。右手で食べるのが難しかった。
先生の感想	・総合的な学習で米作りに挑戦し、自分たちで作った米を使えるカレー作りをお願いしました。バングラデシュの米を用意していただいたので、日本米と比べて味わうことができました。 ・カレーは、豚肉を食さないということでしたのでチキンカレーでした。6種類のスパイスを使った独特の味でした。鶏肉はお祈りした肉というお話でした。宗教・食文化の違いも学ぶことができました。



茨城県国際理解教育推進協議会

会長 川俣 勝慶 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 城里町立常北小学校

担当教諭名 関 康 秀

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

実施日時	平成 24年 2月 8日 (水) 13:45 ~ 15 :20
対象学年と人数	第6学年 26名
派遣講師名と出身国	・大平貴之(ウガンダにてPCインストラクター) ・手塚友美(キリバスにて看護師)
活動の内容	海外で働く日本人の話を聞いて、将来の生き方に役立てる。
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	講師の先生が日本人であったために、児童は知りたい課題を十分に理解することができた。講師の先生の話が上手であった。活動が円滑に展開できた。 今後も機会があったら学習に取り入れていきたい。
生徒・保護者等参加者の感想	児童のみで実施 ・開発途上国の現状がわかった。 ・なぜ海外協力隊員になったかの話が興味深かった。 ・わたしたちにできることとして、「考え続けることが大切」と「まずは行動すること」のお話が印象に残った。
先生の感想	・視聴覚資料を多く準備していただいたので、より関心をもって話を聞くことができた。 ・JICAについて興味をもった児童がおり、「隊員になるためにはどうしたらいいか？」などの質問も出た。 ・学年の実態にあった話の内容であった。質問にも丁寧に答えてくださった。

